

設置基準の趣旨をふまえ

「すべての子どもたちの発達を保障する」ため、**特別支援学校の**

劣悪な教育条件の改善を求めます



現状の特別支援学校は教室不足が深刻…教育上の支障があります

既存校にも設置基準が適用されれば

- 新しい学校が増えます
- 教室不足が解消されます
- 笑顔あふれる安心・安全な学校になります

学校新築に伴う国庫補助率を $\frac{1}{2}$ から $\frac{2}{3}$ への引き上げを求めています

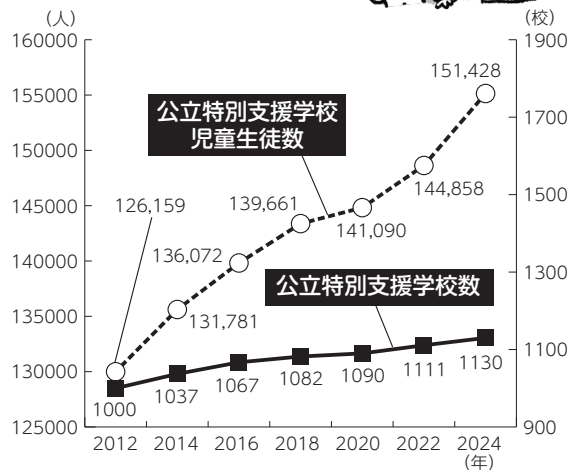
特別支援学校は一人ひとりの障害に応じた専門性の高い教育をしています

地域にねざした小規模でインクルーシブな特別支援学校を

全国の多くの特別支援学校では、音楽室や調理室などをつぶして普通教室にしたり、倉庫で学習したりしています。図書室のない学校もとても多いです。学習するには望ましくない環境で卒業まで過ごす子どもたちがたくさんいます。

小学校・中学校・高校などの空き教室を活用して分教室や分校を設置することは、急増していますが、「間借り」した施設で子どもたちが教育を受けることになり、教育活動や設備面などの制約も多く、本来の教育環境としては望ましくないと考えます。

教室不足が深刻な地域に、必要な施設・設備を備えた新しい学校の建設が必要です。そのための国による自治体への財政支援を求めています。



障害児学校のよりよい設置基準を求め、豊かな障害児教育の実現をめざす会